

学習指導要領		都立工芸高校 学カスタンダード
聞くこと	ア 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取れない単語や未知の語句があっても、前後関係や文脈から意味を推測し、聞いた内容を把握することが出来る。 ・事物に対する紹介や対話などまとまりのある内容を聞き取り、おおまかなテーマ、概要を理解することができる。 ・場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話し手の意図を把握し、質問や指示などに適切に応じることができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。
読むこと	イ 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。また、聞き手に伝わるように音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ・英和辞典を活用しながら、300～600 語程度の教科書の文章を読んで、概要や要点を捉えることができる。 ・教科書の文章を読んで、文中に未知の語句があっても、前後関係や文脈から意味を推測し内容を理解することが出来る。 ・教科書の文章を、センテンス毎に、適切な速度と音量で音読することができる。 ・教科書の文章の中で、つながりを示す語句に注意しながら、各段落の役割を理解し、文章全体の流れを大まかに把握することが出来る。 ・幅広い話題（例えば異文化理解、環境問題など）についての文章を読み取るための語彙・語句や、文法事項を理解している。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。

学習指導要領		都立工芸高校 学カスタンダード
話すこと	ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 300～600 語程度の教科書の文章の内容を理解した後に、英語の質問を聞いて、文章で答えることができる。 ・ 身近な話題や自分の興味、関心があることについて、既習の語句や表現を活用して、英語で相手に伝えることができる。 ・ 日常生活の様々な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身に付けている。 ・ ペアやグループで、幅広い話題について、学んだことや経験したことに基づき、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・ 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。
書くこと	エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、簡潔に書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既習の語句や表現、文法事項を活用して、与えられたトピックについて 30 語程度の文章を書くことができる。 ・ 教科書の文章について、パートごとに、2～3 文程度の要約文を書くことができる。 ・ 教科書の文章や、聞いたり読んだりした内容について、30 語程度で感想や意見を書くことができる。 ・ 身近な話題について 30 語程度の文章を書ける語彙・語句、文法事項が身につけている。 ・ 必要に応じて英和辞書などを活用して書く。 ・ 英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な文化的背景について理解する。

学習指導要領		都立工芸高校 学カスタンダード（2年）
聞くこと	ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いたことに対して、繰り返しや説明を求めるなどして、相手の話を関心もって聞くことができる。 ・聞き取れない単語や未知の語句があっても、前後関係や文脈を考えて、内容を推測するなどして聞くことができる。 ・場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話の主題や話し手の意図を把握し、質問や指示などに適切に応じることができる。 ・基本的な文章のリズムやイントネーション（文全体に及ぶ声の高さの変動）を捉え、話し手の意図や気持ちを把握し、聞くことができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解する。
読むこと	イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・英和辞典を正しく使いながら、教科書の説明、評論、物語、随筆などを読んで、概要や要点を捉えることができる。 ・教科書の文章を読んで、文中に未知の語句があっても、前後関係や文脈を考えて、推測しながら読み続けることができる。 ・教科書の文章の単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに注意して、適切な速度と音量で、聞き手に伝わるように明瞭に音読することができる。 ・概要や要点を把握するために読んだり、詳細を理解するために読んだりすることができる。 ・教科書の文章について、文と文のつながりや段落の大まかな流れを考えて読み進めることができる。

学習指導要領		都立工芸高校 学カスタンダード（2年）
話すこと	<p>ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の文章の内容を理解した後に、簡単な英語の質問を聞いて、YES/NO 又は単語や語句、短い文で答えることができる。 ・教科書で扱った身近な話題や自分の興味、関心があることについて、既習の語句や表現を活用して、メモなどを利用しながら、英語で相手に伝えることができる。 ・うまく言えないことがあっても、既習の語句や表現を用いて、情報や考えを相手に伝えることができる。 ・日常生活の様々な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身に付けている。
書くこと	<p>エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トピック・センテンスやサポーティング・センテンスの構成を考え、つながりを示す語句を用いながら、文章を書くことができる。 ・自分で書いた文章を読み直し、既にもっている知識を駆使しながら、読み手の立場に立って分かりやすい文章を書くことができる。 ・必要に応じて英和辞書や和英辞書などを活用して書く。

学習指導要領		都立工芸高校学カスタンダード（3年）
聞くこと	ア 事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いたことに対して、繰り返しや説明を求めめるなどして、相手の話を、関心をもって聞くことができる。 ・聞き取れない単語や未知の語句があっても、前後関係や文脈を考えて、内容を推測するなどして聞くことができる。 ・場面や状況、相手の表情などを踏まえて、話の主題や話し手の意図を把握し、質問や指示などに適切に応じることができる。 ・基本的な文章のリズムやイントネーション（文全体に及ぶ声の高さの変動）を捉え、話し手の意図や気持ちを把握し、聞くことができる。 ・英語を使用している人々の日常生活、風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な基本的な文化的背景について理解する。
読むこと	イ 説明、評論、物語、随筆などについて、速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また、聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・英和辞典を正しく使いながら、教科書の説明、評論、物語、随筆などを読んで、概要や要点を捉えることができる。 ・教科書の文章を読んで、文中に未知の語句があっても、前後関係や文脈を考えて、推測しながら読み続けることができる。 ・教科書の文章の単語の発音及び文章のリズムやイントネーションに注意して、適切な速度と音量で、聞き手に伝わるように明瞭に音読することができる。 ・概要や要点を把握するために読んだり、詳細を理解するために読んだりすることができる。 ・教科書の文章について、文と文のつながりや段落の大まかな流れを考えて読み進めることができる。

学習指導要領		都立工芸高校学カスタンダード（3年）
話すこと	ウ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の文章の内容を理解した後に、簡単な英語の質問を聞いて、YES/NO 又は単語や語句、短い文で答えることができる。 教科書で扱った身近な話題や自分の興味、関心があることについて、既習の語句や表現を活用して、メモなどを利用しながら、英語で相手に伝えることができる。 ペアやグループで、様々な事柄を、話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 うまく言えないことがあっても、既習の語句や表現を用いて、情報や考えを相手に伝えることができる。 日常生活の様々な場面で必要となる語句や表現、文法事項を身に付けている。 他の生徒が話したことについて、感想を伝えることができる。
書くこと	エ 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書く。	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の文章について、ワークシートなどを用いて要約文を書くことができる。 トピック・センテンスやサポーティング・センテンスの構成を考え、つながりを示す語句を用いながら、文章を書くことができる。 自分で書いた文章を読み直し、既にもっている知識を駆使しながら、読み手の立場に立って分かりやすい文章を書くことができる。 必要に応じて英和辞書や和英辞書などを活用して書く。 グループワーク等で書いた文章を読みあい、簡単な感想が書ける。